

外国語学部

2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
プログラム科目、日本語教師養成講座、データサイエンス、教員免許	卒業時	1-4年次	学務委員会が、各関係科目の履修状況を踏まえ、各プログラム改善や自己点検・評価、情報公開に活用する。
TOEFL ITP	入学前 1年次 2年次末 4年次	1-4年次	学務委員会が、スコアの伸長や分布等を踏まえ、クラス編成の適正化、カリキュラム改善に活用する。
TSST	1年次 2年次末	1-4年次	学務委員会が、スコアの伸長や分布等を踏まえ、クラス編成の適正化、カリキュラム改善に活用する。
中国語検定	入学前 1年次 2年次末 4年次	1-4年次	学務委員会が、資格取得状況等を踏まえ、クラス編成の適正化、カリキュラム改善に活用する。
プラスワン、副専攻言語検定試験	1-4年次	1-4年次	学務委員会が、検定試験の受験状況を踏まえ、カリキュラム改善に活用する。
SA成果報告	2年次末	2年次	SA委員会が、留学成果の報告を踏まえ、各SA協定校のカリキュラム改善に活用する。
オープンバッジ	卒業時	3, 4年次	学務委員会が、OB取得状況を執行部に報告し、カリキュラム改善や自己点検・評価、情報公開に活用する。
卒業プロダクト	4年次	4年次	学務委員会が、専門演習・卒業演習の履修者数、評価結果を踏まえて、同演習科目の改善を図るとともに、卒業プロダクトを、下位年次生に発表・公開することで、研究の質的向上に活用する。
免許取得 就職進路	4年次	4年次	キャリア委員会が、教員免許等の取得者数、就職進路結果を報告し、就職支援の改善、自己点検・自己評価に活用する
入学時調査 パネル調査 卒業時調査 卒後調査	入学時 3年次 卒業時 卒業後	1-4年次 卒業生	執行部会が、教学IRプロジェクトの調査結果を踏まえ、学生の主体性・自律性の発達を把握し、カリキュラム改善、学習支援や学習環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用する。
成績基準に基づく面談指導対象者数と面談内容	1年次 3年次 4年次	1-4年次	執行部会が、成績不良者に面談指導を行い、対象者数の推移や指導内容を踏まえて、カリキュラム改善、学修支援の見直しに活用する。
基礎演習1, 2、SA Prep提出物	1年次末	1年次	執行部会が、科目コーディネータと協力して、留学準備及び留学中の目標設定、学習計画の状況(学生たちが抱える課題・不安)を把握し、留学支援方法の改善に活用する。